

五泉警察署建設の基本構想

1 五泉警察署建設の必要性

五泉警察署庁舎は、昭和 42 年度の建築で築後 59 年が経過しており、老朽化・狭隘化が著しく警察活動に支障を来している。

また、来庁者用駐車場が不足しているほか、バリアフリー対応設備や女性専用設備の整備が不十分であり、来庁者に不便を強いている状態であることから、適地に新しい五泉警察署を建設する必要がある。

2 建設の基本的な考え方

五泉警察署は、住民の安全・安心を守る拠点として警察署機能を十分に発揮することができ、かつ、セキュリティ機能を確保しつつ来庁者駐車場の確保やバリアフリー設備の整備など、利便性を確保し、安心感を得られるような地域と調和する施設整備を図り、また、情勢の変化への対応や環境に配慮した施設整備を図ることを基本的な考え方とする。

(1) 建設のコンセプト

ア 事件・事故・災害に迅速・的確に対応できる施設整備を図る

- 急速に変化している社会情勢の中、凶悪化・複雑化・巧妙化・多様化が進む犯罪や、多岐にわたる警察事象に常に迅速・的確に対応できる施設整備を図る。
- 警察署は災害警備・救助活動の拠点となることから、地震等の大規模災害発生時でも警察活動の拠点としての庁舎機能を常に維持できるような施設整備を図る。

イ 人と環境に優しく、情勢の変化や地域の特性に配慮した施設整備を図る

- 高齢者や障害者、犯罪被害者など多くの住民が利用することから、明るく優しい雰囲気での親しみが持て、来庁者の利便性向上のためわかりやすい窓口・案内に配慮した施設整備を図る。
- 職員自身がやりがいや魅力を感じられ、職員一人一人が十分な能力を発揮でき、また、安全で安心して働ける施設整備を図る。
- ZEB（ゼロ・エネルギー・ビルディング）化に向けて、省エネルギー製品や再生可能エネルギーが活用できる施設整備を図る。なお、再生可能エネルギーについては災害対策にも機能を発揮するため、費用対効果を見極めながら設備導入の可否を検討する。

- 先端技術・情報通信技術等の進歩により更なる警察活動の高度化、合理化に柔軟に対応できる施設整備を図る。
- 五泉市の気候、歴史や文化等の特色を生かした地域景観に調和する施設整備を図る。

(2) 建設に当たって求める機能等

ア 事件・事故・災害に迅速・的確に対応できる施設

- 捜査会議室、総合指揮室を設置し、重要な事件・事故に即応できる機能を備え、かつ、機動力が発揮できる施設
- 刑事手続のIT化、取調べの適正化、捜査手法の高度化、合理化等の更なる各種デジタル化に着実に対応できる施設
- 地震等の大規模災害発生時、構造体の補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて十分な機能確保が図られる構造・設備を備えた施設

イ 人と環境に優しく、情勢の変化や地域の特性に配慮した施設

- 犯罪被害者、参考人や相談者のプライバシーに配慮し、相談しやすく親しみのある施設
- 施設来庁者の利便性向上のため、十分な来庁者用駐車場を確保するほか、ユニバーサルデザインを取り入れ、高齢者や障害者、犯罪被害者等が安心して利用できる施設
- 職員一人一人の健康管理に配慮し、良好な勤務環境を維持できる施設・設備
- 緊急車両と一般来庁者との動線を分離した庁舎・駐車場配置
- 不法行為等を容易に把握するための監視機能、異常を知らせる警報機能、庁舎等への車両侵入を防ぐ防護機能等の万全なセキュリティ機能を備えた施設・設備
- 庁舎の配置・形状の工夫による採光・通気の確保など省エネ性に優れ環境に優しく、かつ、LCC（ライフ・サイクル・コスト）の縮減を考慮した施設・設備
- 維持管理の効率性、スペースの汎用性等を考慮した効率的な施設・設備
- 情勢の変化に伴うデジタル設備の更新等の警察活動の高度化・合理化に対応できる施設・設備
- 積雪による事件・事故対応の遅れや、来庁者の不便とならない除排雪の動線に配慮した庁舎・駐車場配置や設備

3 建設地の概要

(1) 五泉市の概要

五泉市は、新潟市中心部から車で約 40 分の距離に位置し、ニットをはじめとする繊維産業、牡丹やチューリップ等の花き栽培が盛んな地域である。

磐越道、国道 290 号線と多くの主要地方道が走っていることに加え、J R 磐越西線が整備されていることから、隣接している新潟市秋葉区、阿賀野市、加茂市、三条市、阿賀町、田上町との連携、交流が盛んである。

(2) 立地の概要

建設地の立地は、国道 290 号線に接続する県道 403 号五泉停車場石曾根線ごせんていしゃじょう いしぞねに面しており、市道泉田川瀬下町歩線いずみだかわせしもちょうぶ沿いに位置し、新しく整備された都市計画道路東南環状線にも近く、市街地や五泉駅から半径約 2 km 圏内、五泉市役所から約 2.2 km に位置している。また、浸水想定区域 0.5m となっている。

(3) 地名地番

五泉市寺沢 5 丁目 1084 番 1 ほか 4 筆

(4) 敷地面積

約 4,748 m²

4 建物概要

(1) 用途

警察署

(2) 建物種別等

ア 庁舎棟

鉄筋コンクリート造、3 階建て

イ 附属棟（車庫、バイク・自転車置場、倉庫等）

鉄骨造、平屋建て

(3) 面積

約 2,468 m²

(4) 各室・施設の配置

庁舎は 3 階建てとし、以下のような配置を想定している。

- 1 階：署長室、警務課、会計課、地域課、交通課、当直対応スペース
- 2 階：生活安全課、刑事課、取調室、当直室
- 3 階：警備課、大会議室（訓授室）、道場

5 その他の条件等

敷地、建物配置等の検討に当たっては次の点に留意すること。

(1) 乗り入れの整備

警察署への乗り入れは、2か所整備することとし、県道403号五泉停車場石曾根線に1か所と、もう1か所は市道泉田川瀬下町歩線または県道403号五泉停車場石曾根線に整備できるよう検討すること。

(2) 近隣環境への配慮

現状、建設地東側の用水路は、敷地内の雨水を流すことによりあふれ出る可能性がある。雨水を一定程度敷地内に溜めておける遊水池や貯留施設の整備を検討すること。

また、建設地の北側から東側にかけて農地が近接することから稲作等に影響が出ないような建物配置計画を検討すること。

(3) 留置施設のない警察署

五泉警察署は十日町警察署と同様の留置施設を設置しない警察署となるので、従来留置施設を設置していたスペースで警察運営の効率が向上するような平面計画を検討すること。